

第53期京都芸術センター制作室使用申請フォーム記入事項確認表

* フォームへの入力前の事前データ準備のためにご活用ください。

必須	質問事項	選択項目	回答	記入例
◎	メールアドレス*			
◎	申請者（代表者）の氏名*			
◎	団体名（申請者が団体の場合のみ記載）			
◎	申請者の住所*			〒****-**** ○市****区**町****
◎	電話番号*			
	担当者名（申請者と別に担当者がある場合は記入してください）			制作担当：○○○○
	制作室の希望について（セクション2/5）			
◎	使用を希望する期間の開始日（2026年4月1日～2026年9月30日までの間）			4月○日
◎	使用を希望する期間の終了日（*上記で設定した開始日から2026年9月30日までの間）			9月○日
	期をまたいでの使用を希望しますか。	52期から継続使用を希望（2026年3月末までの使用が決定している） 54期への継続使用を希望（2026年10月以降の使用を希望する）		
	上記の使用希望期間内で、部屋を占有して制作を行いたい場合は、その期間と理由を記載してください。			例1）6月1日から30日の間：本番前に舞台装置を置いて稽古するため。 例2）7月1日から8月10日：大型作品を組み立て、移動が難しいため。
	使用希望曜日	月・火・水・木・金・土・日 午前・午後・夜間		
	使用期間や使用希望日に関して特記することがあればご記入ください。			例1）4月○日～5月末までは平日の午前、6月から1ヶ月は占有を希望します。 例2）公演が10月20日のため、9月20日以降は、部屋を占有しての使用を希望します。
◎	使用人数			○人
◎	使用を希望する制作室を選んでください（3つ以内）	制作室1 制作室2 制作室3 制作室4 制作室5 制作室6 制作室7 制作室10 制作室11 制作室12		
	特に使用を希望する制作室がある場合は、その番号と理由を記載してください。			例1）制作室1・2：水を使う作業を行うため 例2）制作室7・10：ダンスの稽古でバーと鏡が必要なため

制作する作品の主たる発表計画（公演・展覧会情報）（セクション3/5）			
◎	制作しようとする作品のジャンル	美術 演劇 ダンス 音楽 複合 その他	
◎	使用期間中の活動計画		【記入例】 ○月○日 資材搬入・下準備 ○月○日 クリエイション ○月○日 リハーサル等 ○月○日 搬出 ○月○日～○月○日 公演のため制作室は使用しない
◎	公演・展覧会名		
◎	公演・展覧会の実施期間、実施会場は確定していますか？	期間と会場が決定している 期間のみ決定している 会場のみ決定している 期間・会場とも未定	
	開催期間が決まっている場合は、期間を記載してください。		
	実施会場が決まっている場合は、会場名と住所を記載してください。		○○会館：○○県○○市***町***
	実施期間や会場が確定していない場合は、いつ頃に確定する予定か記載してください。		
◎	制作・発表する作品についての企画書・予算書 ※PDF推奨、5ページ、5MB以内	※事前に準備し、データ添付してください。 ※PDF推奨、5ページ、5MB以内	
◎	活動記録（これまでの活動がわかる資料を添付してください。）	※事前に準備し、データ添付してください。 ※PDF推奨、5ページ、5MB以内	
	参考となるウェブサイト、動画のURL（※ダウンロード用のURLは不可）		

	市民との交流事業について（セクション4/5）			
◎	明倫ワークショップあるいはSTUDIO OPEN DAYでのワークショップの開催を希望しますか。（使用期間中の開催は必須です）	明倫ワークショップの実施 STUDIO OPEN DAYでのワークショップの実施（2026年4月24日～26日開催予定）		
	明倫ワークショップの希望日時があれば記載してください。（※開催日は採択後、事務局と調整の上、決定します。希望に添えない場合もあります。）			
◎	ワークショップ名			
	定員			
◎	ワークショップの内容			
◎	ワークショップのねらい			
	アンケート（セクション5/5）			
	美術分野の制作を行う方のみご回答ください。美術分野の他の申請者と使用希望時期が重複し単独での使用が困難な場合、制作室の共同使用について調整に、	応じる 応じない		
	初めて申請する方におうかがいします。京都芸術センターの制作室について、どこで知りましたか。	友人・知人・先輩など 京都芸術センターウェブサイト 京都芸術センターSNS 募集チラシ（挟み込み） 募集チラシ（京都内施設） その他		
	過去の制作室使用について			例：2024年1月～3月